

# 邑南町立石見中学校 第1学年 国語科学習指導案

日時：平成26年12月17日(水)5校時

場所：学校図書館

指導者：遠藤 由紀

## 1) 単元名 「今に生かしたい江戸の知恵」

～ポスターセッション形式で発表し、意見の交流を通して自分の考えをもつ～

## 2) 単元のねらい

- ・調べたことを聞き手が理解しやすいように話したり、発表を聞いて質問したり感想を述べたりして進んで交流しようとする。 【国語への関心・意欲・態度】
- ・伝えたいことを明確にし、わかりやすく伝えるために話を構成し、相手の反応に応じて、話し方を工夫することができる。 【話す・聞く能力】
- ・発表を聞いて、自分たちが調べたことや考えたことと比較して、質問したり感想を述べたりすることができる。 【話す・聞く能力】
- ・音声の働きや仕組みについて理解し、適切な声の調子や抑揚で話すことができる。 【言語についての知識・理解・技能】

## 3) 基 盤 (※生徒観は省略)

○学習指導要領には、「A 話すこと・聞くこと」に、指導事項「イ全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。」「エ必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。」とある。

本単元では、「伝えたいことを明確にし、わかりやすく伝えるために話を構成し、相手の反応に応じて、話し方を工夫することができる。」「発表を聞いて、自分たちが調べたことや考えたことと比較して、質問したり感想を述べたりすることができる。」をねらって、ポスターセッションでの学習活動を組む。ポスターセッションは、聞き手の反応を見ながら、表現を言い換えたり、もう一度伝えたりと聞き手に応じたわかりやすい話し方が求められる。また、少人数での情報のやりとりになるために、聞き手も聞き返したり、質問をしたり、感想を述べたりしやすい。自分の考えをわかりやすく表現し、相手に伝えることが求められ、また、人との交流の中から考えを深めたり、新たな考えを創造していく力を養える学習活動であり、上記の指導事項を指導するには適した活動であると考えられる。

○ポスターセッションのテーマは、「今に生かしたい江戸の知恵」。『江戸からのメッセージ ―今に生かしたい江戸の知恵』(杉浦日向子著)を導入とし、江戸時代の町人の暮らしを調べ、江戸町人の知恵を紹介し、私たち現代人にメッセージ(提案)を送るポスターを作る。江戸の町人の暮らしから「住まいと道具」「食生活」「エネルギー」「職業」「江戸しぐさ」の5つを小テーマにグループ別に調べ学習をする。一人では学習活動を進めにくい生徒も、グループ活動を取り入れて学びあいながら学習を進めることで、自信をもってポスターセッションに臨ませたい。また、ポ

スターをもとに意見を交流させ、自分の考えを深めさせたい。

今回、説明的な文章の学習において、事実と考察の区別がつかず、混同してしまう生徒が多かったため、自分たちのメッセージ（提案）を作っていく段階では、思考の流れを見える化する思考ツールを取り入れる。思考ツールとよばれるものは数々あるが、思考の段階を分けて書いていけるピラミッドチャートを用いて、集めた情報から意見を作り上げるといった経験をさせたい。その際に、現代と、江戸時代の暮らしぶりを比較させ、意見を作る手がかりとする。

#### 4) 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
聞き手が理解しやすいように話したり発表を聞いて進んで質問したり感想を述べたりして進んで交流しようとしている。	○伝えたいことを明確にし、わかりやすく伝えるために話を構成し、相手の反応に応じて、話し方を工夫している。 (イ) ○発表を聞いて、自分たちが調べたことや考えたことと比較して、質問したり感想を述べたりしている。(エ)	聞き手の反応に応じて、適切な声の調子や抑揚を変えて話している。  (1) イ (ア)

#### 5) 単元の指導計画と評価計画 (全10時間)

次	時	目 標	主な学習活動	評 価			
				国語	話・聞	言語	評価規準(評価方法)
1	1	テーマを知り、学習の流れをつかむ。	①教師の発表モデルを見て、ポスターセッションのイメージをもつ。 ②テーマに沿って、教材文を読み、要旨をつかむとともに、テーマに関連したところをピックアップしておく。	○			[国] モデルを見て、学習のイメージをつかもうとしている。 (ワークシート)
	2 3 4	テーマに沿って、情報を集める。	①図書資料から情報を集め、情報カードに書く。 ②KJ法を使って集めた情報を分類整理し、何についてさらに調べたらよいかを確認し、情報を集める。 ③KJ法で分類した情報に短い文や言葉で小見出しをつける。	○	○		[話] グループで話し合い、集めた情報を整理している。 (観察・ワークシート) [国] テーマに沿った情報を進んで集めようとしている。 (情報カード)
	5	調べたことから、メッセージ(提案)を作る。	①ピラミッドチャートを用い、集めた情報を取捨選択し、メッセージ(提案)の内容を考える。		○		[話] 伝えたいことを明確にし、わかりやすく話を構成できる。 (観察・ピラミッドチャート)

3	6	ポスターにまとめる。	①ポスターの特徴を知る。 ②ポスターの構成を考えて、役割分担し、紙面を作る。		○	【話】集めた情報をさらに取捨選択し、伝わりやすくするために話し合っている。 (観察・レイアウト用紙・ポスター)
	8		①発表練習をする。		○	【言】内容に応じて適切な声の調子、抑揚を変えて話している。 (観察)
	9		②クラス発表。 1班ずつ行い、質問をしたり感想を述べたりする。 話し方の工夫について気づいたことを出し合い発表を修正する。	○	○	【目】相手に伝わりよう練習をもとに発表している。 発表を聞いて感想をもち、交流しようとしている。 (観察・ワークシート)
10		③ポスターセッション(学年)を行う。 同テーマの発表と、クラス発表で興味を持ったテーマの発表を一つ選んで聞く。 学習のまとめとして、振り返りを書く。			【話】話題を的確に捉えて、質問している。 質問に的確に受け答えしている。 (観察・ワークシート)	

6) 本時の学習 (第2次 / 5時間目)

①本時のねらい

○伝えたいことを明確にし、わかりやすく話を構成できる。【話す・聞く能力】

②本時の展開

学 習 活 動	教師の支援	評価 (評価方法)
1 本時の学習のめあてを確認する。	・モデルのポスターを用いて、本時のゴールをイメージさせる。	
江戸時代と現代の暮らしぶりを比較して、現代を生きる私たちへのメッセージ(提案)を考えよう。		
2 ピラミッドチャートの使い方を確認する。	・モデルをピラミッドチャートに当てはめ、情報を分析して、メッセージ(提案)を作り上げる手順を説明する。	<p style="text-align: center;">現代の私たちへのメッセージ 江戸時代の暮らしぶり 現代の暮らしぶり 集めた情報 ピラミッドチャート</p>
3 分類した情報(情報カード)を取捨選択し、江戸時代の暮らしぶりについて考察する。	・集めた情報を取捨選択する必要があることを話す。 ・江戸時代と現代の生活と比較す	【話】情報を取捨選択し、江戸時代と現代の暮らしぶりを比較することでメッセージを導き出して

4 現代の暮らしと比較し、メッセージ（提案）を考える。	る際の視点を示す。	いる。  <small>(観察・ピラミッドチャート)</small>
5 本時の振り返りを、振り返りカードに書く。	・数人に、振り返りを発表させる。 ・次時の予告をする。	<small>(振り返りシート)</small>

### ③本時の評価

	十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への指導の手立て
話す・聞く能力	情報を取捨選択し、江戸時代と現代の暮らしぶりを比較した意見をまとめながら、わかりやすい構成や表現になるようメッセージを考えている。	情報を取捨選択し、江戸時代と現代の暮らしぶりを比較することでメッセージを導き出している。	友達の見解を参考に、江戸時代と自分の暮らしぶりを比較し、現代を生きる私たちが見習いたいところを挙げるよう助言する。

### ④研究の視点

- ・ピラミッドチャートを用い、江戸時代と現代の暮らしぶりを比較させ、メッセージ（提案）を考えることは、わかりやすく話を構成するために有効な手段であったか。